

1 親切運動の取組の紹介

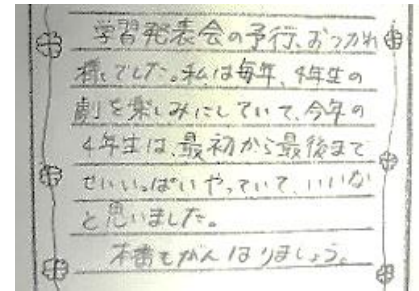
(1) 挨拶運動

本校では、気持ちを込めた挨拶の活動として、「〇〇先生、こんにちは」という「名前付き挨拶」を奨励している。2学期の「古府っ子あいさつ週間」では、明るく元気に「名前付き挨拶」を10人以上にできたらシールを貼るといった活動を行った。さらに、近隣の高校生と一緒に挨拶をする「さわやか運動」も行った。友達や教職員、地域の方との温かい関わりを育む場を充実させ、挨拶と笑顔があふれる学校を目指している。



(2) かがやきレター活動

友達のよいところを見付けたり、感謝を伝えたりするために、相手に手紙を書き、福祉ボランティア委員が各学級へと届ける「かがやきレター」活動を実施している。いつでも気付いたときに書いてもよいが、「学校行事の練習や本番を頑張っている友達へ」「登校班、清掃班の人へ」等、テーマを決めて行う「かがやきレター週間」もあることで、全員が「かがやきレター」をもらうことができる。心の交流を図りながら温かい人間関係を育み、思いやりあふれる学校を目指している。



(3) 落ち葉掃き

「桜の学校」とも呼ばれる本校の敷地内外は、秋には落ち葉で埋め尽くされる。11月には週2回、上学年が落ち葉掃きを実施し、自分たちの手で学習環境をきれいにしている。近隣の方から「ありがとう」と声をかけていただくことも子供たちの励みとなっており、地域の方々との温かい心の交流の場ともなっている。



(4) 高岡支援学校との交流学習

今年度より、高岡支援学校との対面交流がようやく復活した。1学期に4年生が高岡支援学校へ訪問し、学級で考えたジェスチャーゲームを一緒にしたり、踊りを披露したりして共に楽しんだ。2学期には、各学校の学習発表会の様子をまとめたDVDや図画工作科で描いた絵画を交換して鑑賞し合い、親睦を深めた。



(5) 老人ホーム「こふの希」のお年寄りとの交流

6年生は、総合的な学習の時間の学習の一環として、近くにある老人ホーム「こふの希」を訪問し、お年寄りと交流した。ボッチャやおはじき等のゲームを一緒に行ううち、最初は緊張していた子供たちもすぐに打ち解けてお年寄りと共に楽しんだ。一緒に歌を歌ったときには感動して泣いておられる方もいた。お年寄りのペースに合わせて、ゆっくりと話やゲームをするなど、相手のことを思いやり楽しんでもらおうと頑張る姿に、子供の成長を感じた。



2 親切運動に取り組んで

本校には伝統として受け継がれている様々な活動がある。活動の目当てを明確にし、子供たちがアイデアを生かしながら主体的に楽しんで活動し続けていけるように、支援の在り方を今後も考えていく必要がある。